

特集

患者安全と レジリエンス・エンジニアリング

新しい患者安全へのアプローチとして注目されている「レジリエンス・エンジニアリング」。複雑な医療システムが変動し続ける環境において、限られたリソースの下で柔軟に対応できているメカニズムを解明し、またそのレジリエンス特性（柔軟性や適応力）を利用し、「うまくいくこと」を増やそうとするものである。

本特集では、レジリエンス・エンジニアリングの概念を紹介するとともに、多職種協働が進む医療現場での応用や、これからの患者安全のための組織づくりについて考察する。

“レジリエンス・エンジニアリング”で変わる、患者安全の未来 ● 中島和江

レジリエンス・エンジニアリングの概要 ● 笠原聡子

ヘルスケア領域へのレジリエンス・エンジニアリングの適用方法 ● 笠原聡子

ヘルスケア領域でのレジリエンス・エンジニアリングの実践に向けて ● 笠原聡子

【コラム】機能共鳴解析手法を用いた内服関連業務における

組織的なリスク評価手順 ● 橋本世子典

【コラム】RRS（Rapid Response System）の導入において、

レジリエンス・エンジニアリング（RE）の視点を取り入れた事例 ● 川口なぎさ

米国での多職種医療安全チーム ● 梅津健太

巻頭シリーズ

あしたのマネジメントを考えるヒント、このひとに聞く⑩

川野泰周氏

編集後記

▶「ペイシェント・エクスペリエンス（PX）」を、日本の看護雑誌で初めて特集させていただきました。この場を借りてご協力いただいた日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会の曾我香織さん、藤井弘子さんにお礼を申し上げます。▶米国の病院で、患者さんが病院の中に入ってから外に出るまでの経験を追跡して評価する仕組みがあると知ったのは4年前でした。米国で医療経営管理士の修士号を取られ、病院運営における包括的な質向上の方法論を述べた書籍『エクセレント・ホスピタル—メディカルコーチングで病院が変わる』の訳者である鐘江康一郎さんに教えていただきました（それこそがPXであることを、当時よく理解できていませんでした）。▶特別記事で近本洋介さんがご紹介くださったように、米国ではPXによる質改善の専門職として心理士などが雇用されているそうです。次号の特集「レジリエンス・エンジニアリング」でも、患者安全の質向上のために人間工学的な分析ができる専門家の配置について述べられる予定です。働き方改革が求められる中、質改善の専門家の育成と配置を、日本でも検討する必要性があると感じています。（小齋）

▶8月23、24日に開催された第23回看護管理学会学術集會を取材しました。開催前に行ったインタビュー（8月号掲載）で学術集會長の前田樹海先生が話されていたねらいの通り、施設や立場を超えて参加者同士の交流が活発に行われていました。ワークショップなど参加型企画が増え、ただ聴講するのではなく、まさに参加する学会であったと感じています。また、この1年に仕事で一緒にさせていただいた方々ともお会いすることができました。学会で得た多くの学びを誌面に生かしてまいりたいと思います。▶学会場でもお会いした角田由佳先生の連載「看護×経済学 経済学で読み解く看護サービスと医療政策」が、今月号で最終回を迎えました。毎回豊富な資料を読み解き、看護師の働き方や看護に関連する政策を取り上げ、「経済学の見方ではこう見ることができる」という見方を提示してくださりました。（石塚）

看護管理 第29巻第10号

2019年10月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2019, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2019年年間購読料

冊子版 本体16920円＋税

冊子＋電子版/個人 本体19920円＋税

電子版/個人 本体16920円＋税

（いずれも送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、石塚、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売・PR部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-5244-5088 FAX03-5244-5089 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された[0917-1355/19/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY]は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook, twitter やってます！

facebook アカウントをお持ちの方は「いいね！」をお願いします。

//www.facebook.com/kangokanri1991/

twitter アカウントは、@kangokanri です。

合わせてフォローをお願いします。

//twitter.com/kangokanri